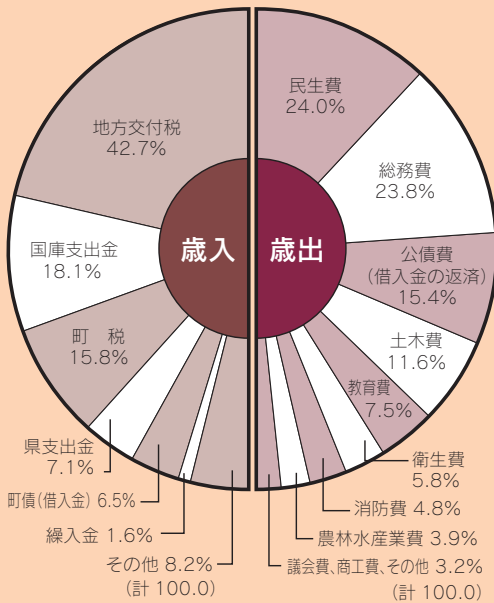


# 平成21年度決算額

◆一般会計 歳入 75億6,616万円  
歳出 74億4,642万円



◆特別会計など (上段=歳入、下段=歳出)

国民健康保険	27億1,108万円 26億6,000万円
後期高齢者医療	1億3,855万円 1億3,820万円
老人保健	76万円 76万円
介護保険	14億9,554万円 14億5,583万円
介護保険 (サービス事業勘定)	465万円 241万円
簡易水道事業	9,007万円 8,567万円
漁業集落排水処理事業	1億8,864万円 1億8,819万円
公共下水道事業	4億6,435万円 4億6,310万円
水道事業	収入 3億 541万円 支出 3億9,436万円

## 滞納整理機構への職員派遣の成果は

問 職員を滞納整理機構に派遣し成果はあったか。また、町民より税金の物納の相談があったか。その場合、物納を受けるのか。

答 滞納整理機構という名前での自主納付の促進、徴収技術の向上などの成果があった。物納について相談はないが、あったとしても受けるつもりはない。

## ふるさと応援寄付金何のためにつかうか

問 ふるさと応援寄付金を

健康福祉課 この補助金については風呂の改修等で、昨年度は3件、1件当たり60万円を支出している。また、介護保険からも別に20万円

## 高齢者住まいづくり事業リフォーム補助の活用は

問 高齢者にやさしい住まいづくり事業補助金があるのだが、リフォーム補助金をこれに乗せて実施してきたのでは。

企画財政課 教育に1件、福祉に1件、子育てに1件、町長に一任が6件の計9件の申し入れがあった。

申し入れた人は何について使用を望んでいるのか。

## 町有地無償貸与見直すべきでは

問 社会福祉法人への町有地無償貸与は、見直すべきでは。

企画財政課 平成5年に議決されているが、無償貸与の期限が切れた時に経営状況、社会的状況、社会福祉法人の意義などを考えて検討する。

## かき小屋へのアクセス近いところへの移転は

問 かき小屋の移転につ

建設課 排水は基本的に行わない。排水が多いと連絡を受けたらそれなりの対応をする。除雪車の配置については検討課題とする。

## 大雪の対応について除雪車を配置しては

問 町では除雪した雪を持つていけないのか。また、各地区に小型の除雪車を配置しては。

水産商工課 漁協が協力しなければ無理である。漁協が考えてくれれば積極的に協議したい。

の給付費を支出しているの、上乗せは考えていない。

て、漁協が所有している立地条件の良い場所に移転できないか。

## 反対討論

一般会計  
佐藤忠暉 議員

今回の談合事件は町にとつて大きな事件で、お互いを信用していたことが信じられないし、人間不信に陥った。

土木A級7業者が平均落札率を下げていたら相当額の税金が浮いていただろうと思うと、何ともつたないことをするのだからうと歯がゆい思いがする。またそれが数年間続いていても誰も気付かないことは、全く開いた口がふさがらない。よつて反対する。

## 賛成討論

一般会計  
黒沢一成 議員

今回の事件に対しての行政の責任の取り方は、再発防止のため入札制度の改革をすること、職員のモラルの緩みを二度と許さないこと、町長・副町長の責任をかたちで表すことである。それに伴い議会側もチェック機関としての責任をかたちで表すことが必要であり、そつしなければ町民は納得しないと思う。反対することは何の解決にもならず、進展もない。結果として賛成する。